

(6)各県・北陸農政局・北陸地方整備局 の支援策

主な発注関係の市町村支援

新潟県公共事業執行円滑化協議会

- ✓ 道路施設点検業務の複数市町村一括発注(R5:16市町村)
- ✓ 道路施設の老朽化対策に関する会議や、技術力向上のための現地講習会を実施
- ✓ 県・市町村職員合同参加の技術管理に関する説明会を開催(オンライン開催及び録画データ提供)
- ✓ 県・市町村職員合同参加の積算基準に関する説明会を開催(オンライン開催及び録画データ提供)

総合評価落札方式の導入

- ✓ 各市町村の実態に合わせた総合評価制度運用への助言
学識経験者意見照会～発注～評価～契約までを総合的にサポート
- ✓ 学識経験者として「地域整備部副部長等」を派遣
- ✓ 企業の技術力評価のために県発注工事の工事成績データを提供

土木職員のための研修

- ✓ 総合的な事業執行能力と様々な現場に応用・活用できる実践的な技術力の取得等を目的とした土木部研修への受入 (R5:市町村職員271名)
- ✓ 新潟県建設技術センターの市町村向けセミナーへ講師派遣

北陸ブロック発注者協議会 新潟県部会

- ✓ 北陸ブロック発注者協議会新潟県部会を開催
【内容】 発注者協議会の内容を、県発注業務における取組紹介や、取組導入が前進した市町村からの事例報告等を交え情報共有し、県内発注機関での取組の推進と強化を図る
【開催状況】 令和5年8月9日(ハイブリッド)開催、全30市町村出席・参加
- ✓ 「発注関係事務相談キャラバン」に県部会事務局に加え県地域機関職員が参画し、当該地域における取組の推進及び強化を図る(R5:2市)

その他

- ✓ 県発注工事の工事検査への臨場
- ✓ 積算システムの最新単価や歩掛をオンライン提供



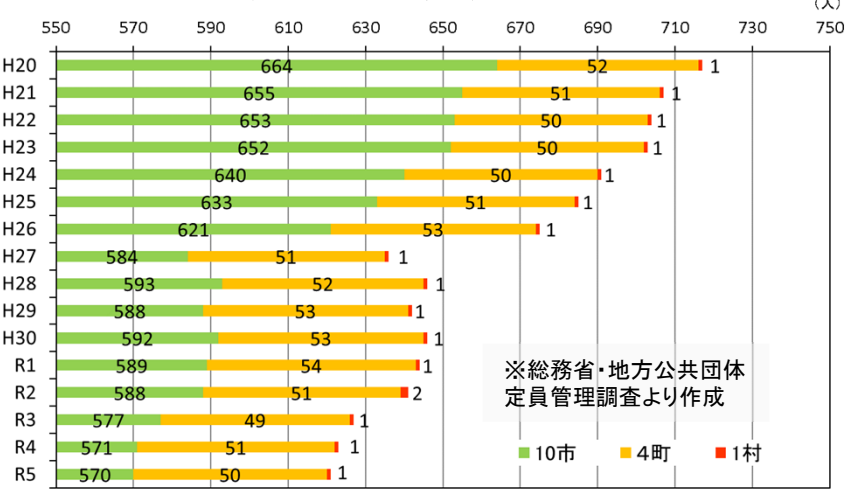
北陸ブロック発注者協議会 新潟県部会



発注関係事務相談キャラバン

市町村の発注体制の現状と課題

市町村の土木・建築部門職員数の推移(単位:人)



【現状】

- インフラ老朽化対策のため構造物の点検・維持管理や更新、防災・減災事業の推進に伴う発注業務の増加
- 市町村の土木・建築部門の職員数の減少



【課題】

- マンパワー不足、職員の技術力の向上が必要
- 品確法に基づく「発注関係事務の運用に関する指針」の浸透及び適切な運用

市町村に対する支援

①技術職員研修

県と市町村技術職員の合同研修を実施

- 積算関係(積算基準説明会、災害復旧事業実務講習会)
- 技術研修(橋梁点検、測量技術など)

②発注等の支援(富山県建設技術センター)

- 工事の積算業務及び管理業務の受託
- 公共土木施設長寿命化に関する支援
- 災害復旧費用の助成

③総合評価導入等に対する支援

総合評価の実施にあたり、総合評価委員(事務所の次長・所長代理)として参画し、総合評価に関する技術的助言を実施

④北陸ブロック発注者協議会 富山県部会を開催

市町村の発注事務の参考となるよう、次の項目について富山県の取り組みを紹介

- 請負代金内訳書の提出
- 低入札調査基準価格等の見直し
- 発注・施工時期の平準化
- 週休2日制モデル工事の試行
- 適切な設計変更等
- 検査書類限定型の試行 など



令和5年8月1日開催

発注関係事務の適切な実施に向けた市町支援

①担当職員の育成

- ◇ 積算研修や現場監督研修、構造物設計、演習などの研修を実施
- ◇ 県庁にて市町職員を研修生として1年間受け入れ



積算研修状況

②発注関係事務等の支援

- ◇ 希望する市町には、県と同様な積算システムを市町に提供し、システム開発や保守に係る負担軽減を図る
- ◇ 総合評価方式における学識経験者として土木事務所長等を派遣

③発注者間の連携強化

- ◇ 北陸ブロック発注者協議会の県部会等を通じて、発注関係事務に係る県内全市町の取り組み状況を共有

R5年8月2日 WEB併用開催、全市町(19市町):WEB参加

【石川県の取組紹介】

- ・施工時期の平準化
- ・いしかわ週休2日工事の推進
- ・建設業におけるICTの活用推進
- ・遠隔臨場の推進 など



北陸ブロック発注者協議会 石川県部会

- ◇ 総合評価方式等の未導入町に対して、導入済市町の事例を紹介するなど実作業を支援

発注者支援のR5年度実績

1 説明会・講習会

(1) 入札・契約制度等説明会

北陸農政局管内の建設工事・コンサルタント業務に携わっている企業に対して、管内国営事業の実施状況を概説するとともに、令和5年度の入札・契約制度の改正点等について、説明会を開催。

(4月26日:石川県文教会館)

【入札・契約制度等説明会】



(2) 若手技術者向け現地見学会

北陸農政局では、次世代を担う係員級の若手技術者を対象とした現地見学会を2回開催。

5月23日に、水橋農地整備事業所において、ほ場整備(暗渠排水)工事を、対象に実施。

9月28日に、新川流域農業水利事業所において、新川河口自然排水樋門建設工事を対象に実施。事業所職員及び現場代理人等との意見交換を通じて、公共工事の品質確保について理解を深めた。

【現地見学会:水橋】



2 工事検査の臨場立会

北陸農政局直轄工事の現地検査や書類検査に臨場立会し、検査技術の習得や工事完成図書の整理方法等の知識を得る機会を提供。随時、申し込みに関する相談受付。

【現地見学会:新川流域】



3 相談窓口開設と対応

北陸農政局管内における農業農村整備事業による公共工事の設計・積算、入札・契約、監督・検査等の発注者支援としての窓口を開設し、電話、メールによる問合せに随時対応。

発注者支援のR6年度計画

1 説明会・講習会

入札・契約制度等説明会

北陸農政局管内の建設工事・コンサルタント業務に携わっている企業に対して、管内国営事業の実施状況を概説するとともに、令和6年度の入札・契約制度の改正点等について、説明会を開催。(令和6年4月25日:石川県文教会館)

2 工事検査の臨場立会

北陸農政局直轄工事の現地検査や書類検査に臨場立会し、検査技術の習得や工事完成図書の整理方法等の知識を得る機会を提供。随時、申し込みに関する相談受付。

3 相談窓口開設と対応

北陸農政局管内における農業農村整備事業による公共工事の設計・積算、入札・契約、監督・検査等の発注者支援としての窓口を開設し、電話、メールによる問合せに随時対応。

発注関係事務に関する 北陸地方整備局の支援

発注関係事務に関する支援メニュー (案)

(令和5年度)

※ **赤囲み** は、建設業の働き方改革に向けた取組
(週休2日に向けた取組) に関する支援メニュー

令和5年5月

北陸地方整備局
公共工事発注者支援本部

目次

はじめに	1
I. 支援メニュー一覧	2
II. 支援メニューの概略の年間スケジュール	4
III. 支援メニューの項目	
1. 各機関の総合評価審査委員会への職員派遣	5
2. 職員研修への県や市町村職員の受講受け入れ	6
3. 県や市町村が開催する研修への職員派遣	8
4. 総合評価関係事務の演習講習会の開催	9
5. 直轄工事検査への臨場受け入れ	10
6. 改正品確法等及び発注関係事務説明会	12
7. ガイドライン(生産性向上)等講習会	13
8. 公共工事の発注関係事務相談キャラバン	14
9. 品質確保等に関する相談窓口の開設	15
10. 港湾空港部の支援メニュー	16
11. 営繕部の支援メニュー	18
12. 各相談窓口一覧(支援カード)	20
(参考) 北陸農政局の支援メニュー	21
(巻末資料) 工事施工の円滑化4点セット【概要版】	22

北陸地方整備局における品質確保に向けた支援（R05実施状況）

- ❑ 「発注関係事務に関する支援メニュー」を活用し、「発注関係事務の運用に関する指針」に基づく各市町村の取り組みを支援。
- ❑ 県部会・WG・キャラバン等を通じて、「発注関係事務に関する支援メニュー」の活用及び各種講習会への参加を促すとともに、自治体が抱える疑問・問題等に対して必要な支援を実施。

R05.05.29 R05.06 R05.08 県部会 R05.10 WG R05.12 幹事会 R06.03



- 「発注関係事務に関する支援メニュー」
- ・総合評価審査委員会への委員派遣
 - ・職員研修への地方自治体職員の受講受け入れ
 - ・総合評価関係事務の演習講習会
 - ・WG説明会(建設業法遵守ガイドライン改訂等)
 - ・ガイドライン(生産性向上)等説明会
 - ・直轄工事検査への臨場受け入れ
 - ・公共工事の発注関係事務相談キャラバン
 - ・相談窓口の開設
 - ・営繕部・港湾空港部の支援メニュー



- 総務部**
- ◆ 協議会定期総会等の開催
 - ◆ 各種情報の提供
 - ◆ 公共工事の契約業務に関する情報共有
- 港湾空港部**
- ◆ 港湾等事業実施円滑化会議
 - ◆ 港湾関係補助事業担当者会議
 - ◆ 港湾施設の維持管理技術に係る講習会
 - ◆ 総合評価審査委員としての職員の派遣

総務部・港湾空港部・営繕部



- 営繕部**
- ◆ 北陸地区営繕主管課長会議の開催
 - ◆ 「公共建築相談窓口」を通じた支援・助言(通年)
 - ◆ 公共建築工事にかかる各種説明会への職員の派遣

① 各機関の総合評価審査委員会への職員派遣（R05実施状況・R06計画）

【目的】 落札者決定基準を定めるための学識者への意見聴取にあたって、総合評価審査委員として職員を派遣することで、自治体への総合評価の取り組みを支援

職員の派遣によるメリット

- ◆ 総合評価に関する技術的助言だけでなく、入札・契約全般についても相談が可能
- ◆ 派遣職員に対する謝金、交通費は国負担

派遣自治体の感想

- ◆ 実際に多数の総合評価方式を実施している国からの助言は有益であり、派遣職員の指摘内容を踏まえ、適切にアドバイスを頂き、入契手続きに関する事務に活かされている。
- ◆ 地域特性を勘案していただいた上で入札方法、施工管理等の留意点についての助言を事務等に反映させることができた。

令和6年度の取り組み【継続】

- 評価項目の設定・配点に苦慮している自治体に、地整職員（副所長）をアドバイザーとして紹介する。

② 職員研修への県や市町村職員の受講受け入れ（R05実施状況・R06計画）

【目的】

◆ 総合評価など、公共工事の品質確保、生産性向上等に関する職員研修に県や市町村等の職員を受け入れ、知識の習得を支援。

●R5県や市町村職員を受け入れた研修一覧

研修名	研修期間	参加者	内訳
監督・検査【Web研修】	5／16 ～ 5／18	1	胎内市1
河川行政（Ⅰ期）	5／31 ～ 6／2	1	新潟県1
道路構造物管理実務者（橋梁初級Ⅰ）【東部】	6／12 ～ 6／15	4	新潟市・南魚沼市各2
道路構造物管理実務者（橋梁初級Ⅰ）【西部】	6／27 ～ 6／30	16	滑川市1、石川県・白山市各3、金沢市・小松市・加賀市・羽咋市・かほく市・能美市・野々市市・津幡町・能登町各1
基礎技術（Ⅰ期）	7／4 ～ 7／7	4	新潟県・氷見市各2
道路行政（Ⅰ期）	7／12 ～ 7／14	2	富山県・石川県各1
用地事務（中級）【隔年】	9／26 ～ 9／29	1	新潟市1
砂防技術	10／4 ～ 10／6	3	新潟県1、富山県2
地域づくり・まちづくり	10／10 ～ 10／13	2	新発田市・石川県各1
道路構造物管理実務者（トンネル）	10／17 ～ 10／19	4	新潟市2、富山県・富山市各1
道路行政（Ⅱ期）	10／31 ～ 11／2	1	湯沢町1
河川・ダム管理技術	11／6 ～ 11／9	1	石川県1
河川行政（Ⅱ期）	11／28 ～ 11／30	1	石川県1
道路構造物管理実務者（橋梁初級Ⅱ）【Web研修】	12／12 ～ 12／14	5	南魚沼市・石川県各2、富山市1

令和6年度も継続して実施

③ 自治体研修への講師派遣（R05実施状況・R06計画）

【目的】県や市町村が開催する公共工事等の品質確保、総合評価、生産性向上等に関する職員向け研修に北陸地方整備局の職員を講師として派遣することにより、知識の習得を支援。

●自治体研修への講師派遣

新潟県土木部職員研修「建設ICT技術活用(第1回)」、「建設ICT技術活用(第2回)」に、北陸地方整備局の職員を講師として派遣。

開催日時：第1回：令和5年10月13日(金)、第2回：令和5年10月20日(金)

開催場所：新潟県自治研修所 情報棟3階 第7研修室

受講者数：第1回：新潟県の職員18名が受講

第2回：新潟県の職員11名が受講

講義内容：今後、ICT技術の取り組みが拡大されることから、その理解と基礎知識の習得をするため、ICT活用工事の施工管理及び検査について講義を実施。



令和6年度も継続して実施

④－1 総合評価関係事務の演習講習会（R05実施状況・R06計画）

【目的】

- ◆ 品確法及び総合評価落札方式の概念、工事及び業務に関する総合評価落札方式及び入札の運用についての知識の習得を支援。
- ◆ 総合評価落札方式の導入・拡大に向けた発注者のサポート体制の充実・強化。
- ◆ 本講習会は、平成23年度から実施を開始し、今年度が13回目の開催。

【令和5年度】

- ◆ 令和5年10月開催の各県WGにて「総合評価導入の必要性」を説明、周知。
- ◆ 演習は、令和6年1月の実施を計画していたが、能登半島地震対応のため、中止。

◇ 演習講習会 内容

- ◆ 総合評価落札方式の概要
 - ・ 総合評価落札方式導入の必要性、総合評価落札方式の進め方
- ◆ 総合評価落札方式の適用
 - ・ 施工能力評価型Ⅱ型（簡易確認型）における受発注者の事務量軽減のための取り組み
 - ・ 業務の総合評価落札方式の概要
 - ・ 総合評価落札方式におけるダンピング対策への対応について
- ◆ 演習
 - ・ 演習問題A 施工能力評価型Ⅰ型（簡易型）
 - ・ 演習問題B 施工能力評価型Ⅱ型（特別簡易型）（「簡易確認型」の総合評価落札方式）

令和6年度の取り組み【継続】

※ 開催時期、実施方法については別途検討

- ◆ 自治体からの質問等（WG・キャラバン等）として「総合評価導入の必要性」「総合評価の進め方」「総合評価落札方式の方法」があることから、継続して講習会を実施。

⑤-1 直轄工事検査への臨場受入（R05実施状況・R06計画）

【目的】

- ◆ 直轄工事における検査に県や市町村の職員が臨場立会を行い、発注関係事務を適切に実施できるよう、検査技術の習得を支援。（平成17年4月の「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の施行を受け平成18年度より実施）

令和5年度 対象工事リスト

工事担当事務所	工 事 名	施工箇所	検査種別 【完成・中間】	検査時期の見込み	工期末	工事規模
新潟国道事務所	紫竹山道路 栗ノ木高架橋下部（上下・P 2－3）工事	新潟県新潟市中央区紫竹山地先	完成	R6. 1. 下旬	R6. 1. 31	A
富山河川国道事務所	R 4・5 猪谷橋床版工事	富山県富山市猪谷地先 ～舟渡地先	完成	R5. 12. 25	R6. 1. 6	A
富山河川国道事務所	R 4・5 片掛橋下部その6 工事	富山県富山市伏木地先	中間	R6. 1. 31	R6. 3. 13	A
金沢河川国道事務所	R 4 羽咋道路 本江道路その9 工事	石川県羽咋市本江町地先及び垣内田町・四町地先	完成	R6. 3. 下旬	R6. 3. 29	B
金沢河川国道事務所	R 4 梯川一針低水護岸工事	石川県小松市一針町地先	完成	1月下旬～2月上旬	R6. 1. 31	B

※ 例年6月以降から直轄工事検査への臨場受入を行っていたが、令和5年度は運営体制がとれず12月から2月の3ヶ月間の開催案内となった。

- ◆ 開催機関：12月～2月
- ◆ 臨場立会対象者：県、市町村の検査担当職員
- ◆ 開催事務所：管内 3事務所



令和6年度も継続して実施

⑤-2 直轄工事検査への臨場受入（R05実施状況・R06計画）

◎自治体からの要望

- ❑ 月初めの実施の場合、申込期間が短く参加できない場合がある。早めに公表をお願いしたい。
- ❑ 直轄工事の検査方法を学ぶ良い機会なので、今後も継続してほしい。

●令和5年度の取り組み状況

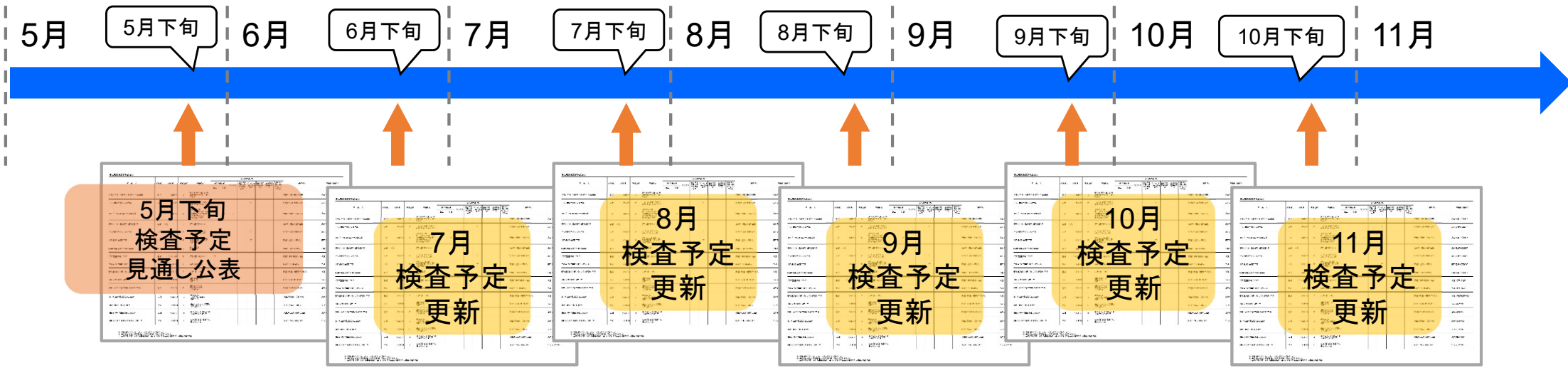
例年、以下の時期及び公表で開催も、令和5年度は運営体制がとれず12月から2月の3ヶ月間の開催となった。

- ① 5月下旬に以降の検査予定を公表する
- ② 前月の下旬に該当月以降の検査予定を更新する。

◎検査予定(概略版)記載内容

- ◆工事発注事務所
- ◆工事名
- ◆施工場所
- ◆検査区分(中間・既済・完成)
- ◆検査日または検査時期の見込み
- ◆工事規模(A、B、C)

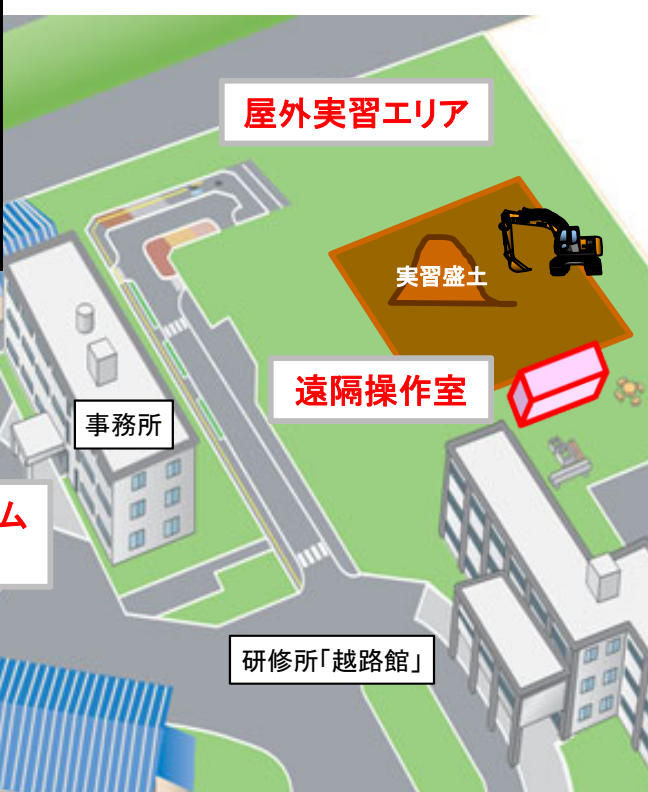
◎対象工事検査予定公表時期のイメージ



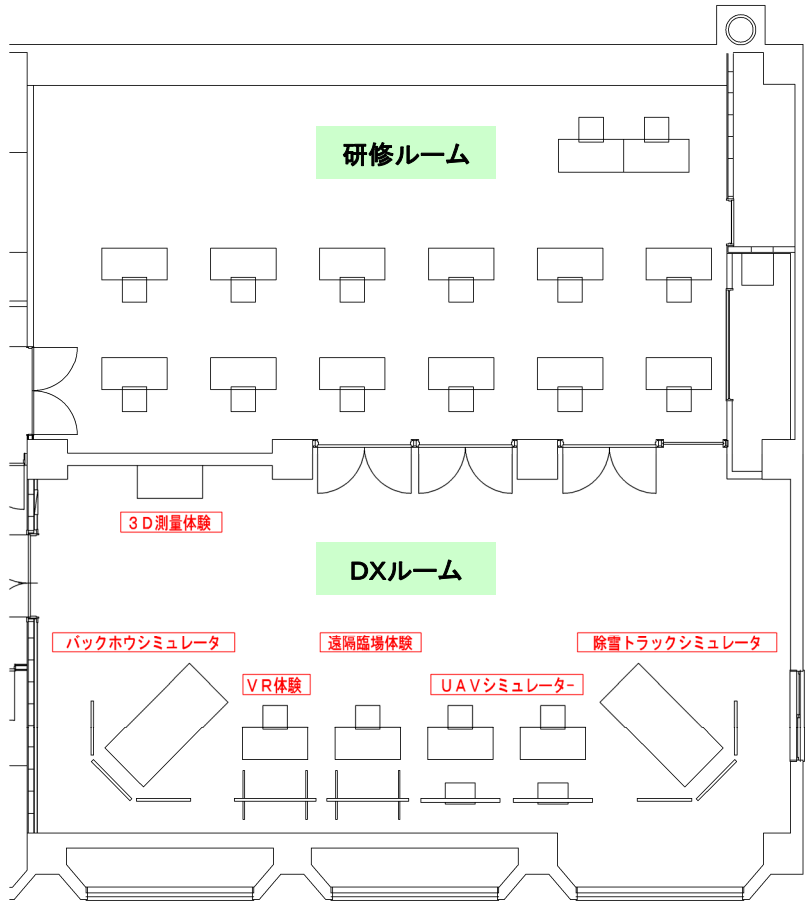
⑥-1 インフラDXの推進 北陸インフラDX人材育成センター（R06新規）

- 北陸のインフラDXの推進を担う人材育成、及び建設業の新たな働き方の情報発信拠点として、令和6年3月27日北陸技術事務所に「北陸インフラDX人材育成センター」が開所
- 研修ルームでは、整備局職員のほか、「民間技術者」「自治体職員」「学生」を対象とした講習会を実施
- DXルームでは、情報発信の拠点として、「一般の方」も含めてDX体験を実施

DXルーム体験メニュー	内 容
VR体験	3次元モデル等によるVR(仮想現実)体験
遠隔臨場体験	ウェアラブルカメラによる遠隔臨場体験
3次元測量体験	タブレットを使用した3次元測量体験
シミュレータ体験	除雪トラック、バックホウ、UAVのシミュレータ体験



研修ルーム・DXルーム



研修ルームにおける研修メニュー

- ・DX技術
- ・GIS操作
- ・BIM／CIM
(基本操作、地形モデル作成ほか)
- ・3次元測量
(3次元測量、3次元データ作成)

DXルームの体験メニュー

バックホウシミュレータ		若手重機オペレーターの育成を目的とし、シミュレータによって仮想空間での様々な施工ステージでの操作体験を行います。
VR体験		VR(仮想現実)の活用により、360° 自由な視点でインフラ施設を俯瞰したり、インフラ点検の様子などをリアルに体験します。
遠隔臨場体験		ウェアラブルカメラによって取得した映像及び音声を利用し、遠隔地から建設現場の状況確認等を行う遠隔臨場を模擬的に体験します。
UAVシミュレータ		シミュレータによって、実機では体験できない様々な危険な状況・事例を体験し、UAV飛行における安全対応を学びます。
除雪トラックシミュレータ		若手オペレーターの育成を目的とし、シミュレータの仮想空間での除雪作業について、運転と多数の除雪装置のレバー類の操作体験を行います。
3次元測量体験		iPADのLiARスキャナを活用し、計測対象に触れることなく、点群データの取得を体験します。

⑥-3 インフラDXの推進 北陸インフラDX人材育成センター（R06新規）

遠隔操作室・屋外実習エリア



⑥-4 インフラDXの推進 北陸インフラDX人材育成センター（R06新規）

北陸インフラDX ホームページの開設(令和5年4月)

① 北陸地方整備局HPトップから



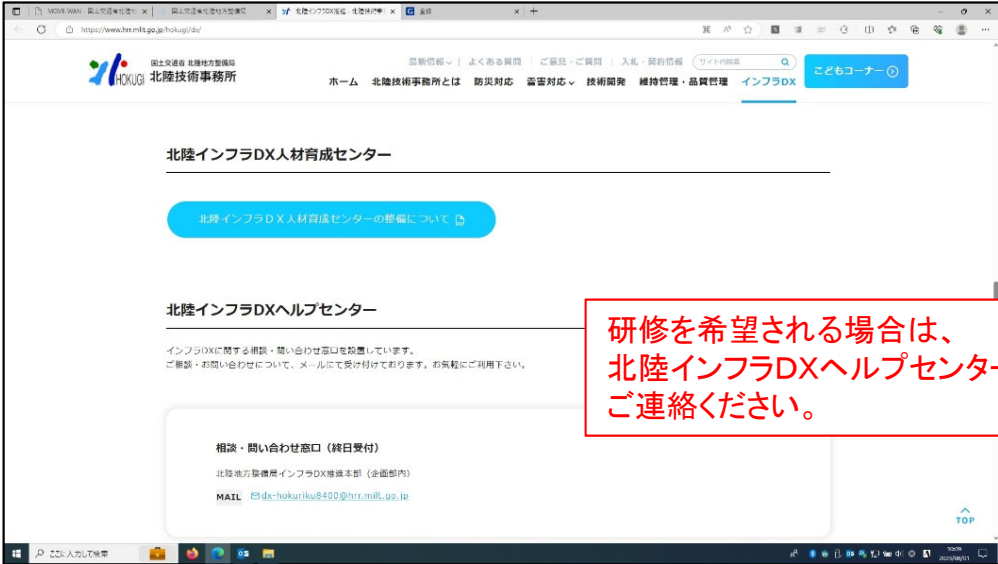
② 北陸技術事務所HPにリンク



③ 取り組み概要・新着情報・北陸i-Construction



④ 人材育成センター・ヘルプセンター



⑦-1 生産性向上等説明会（R5実施状況・R6計画）

【目的】

- ❑ 工事品質の確保と建設現場のコスト削減や生産性向上を図るため、発注・入札契約・設計積算の担当者並びに監督及び検査職員などを対象に、受発注者が一体となって取り組む工事施工の円滑化4点セット等の各種ガイドラインの説明を行い、円滑な工事の推進が図られることを支援。

【令和5年度】

◆ 説明会は、動画配信「YouTube」にて実施（協議会HPにて公表）。

前期：令和 5年 8月21日（月）～11月末まで、 後期：令和 6年 1月16日（火）～ 3月末まで

【説明項目】

- ① 建設業界における働き方改革への取り組み
- ② 工事事故の発生状況
- ③ 円滑な工事施工の確保・工事書類の簡素化
- ④ インフラ分野のDXの推進
- ⑤ i-Construction関係
- ⑥ 最近の話題
- ⑦ 営繕工事の生産性向上の取り組み

北陸ブロック発注者協議会

令和5年度「ガイドライン（生産性向上等）説明会」動画配信

北陸地方整備局では発注者に対する立場で協働し、コミュニケーションの充実を図るために「工事の円滑化推進会議」（工事施工の円滑化4点セット）を運用し、工事の生産性を向上させるための有効な手段として活用しています。

本説明会は、受発注者の協働により、工事の品質確保および生産性の向上を図り、良質な社会インフラを提供していくために、これまでのi-Constructionへの取り組みを踏まえ、「インフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）」を推進し、新たな建設現場の構築を目指すことを目的に開催するものです。

令和5年7月26日（水）に開催した令和5年度の説明会（前期）を下記のとおり動画配信いたします。なお、視聴料は、アンケートの回答にご協力をお願いします。

- [「ガイドライン（生産性向上等）説明会」資料](#)
- [「ガイドライン（生産性向上等）説明会」動画（YouTube）](#)
- [「ガイドライン（生産性向上等）説明会」アンケート（発注者用）](#)
- [「ガイドライン（生産性向上等）説明会」アンケート（受注者用）](#)

協議会HPにて公表



動画配信

令和6年度の取り組み【継続】

- ◆ 生産性向上につながる取り組みについて幅広く説明を行っていることなどから、継続して実施。
- ◆ R6.2に策定した「**工事書類スリム化ガイド**」の説明。
【R6新規】

工事書類スリム化ガイド

～ 現場技術者の負担軽減のために ～



令和6年2月

北陸地方整備局 企画部
技術管理課

現場技術者の負担軽減を図るための取組み[5つの要点]

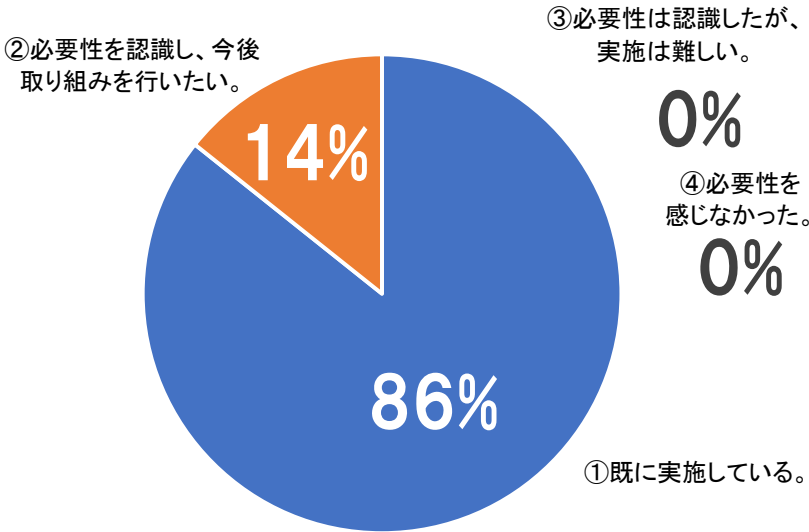
1. 受注者と発注者の適切な役割分担
2. 受注者と発注者のコミュニケーションによる円滑な施工
3. 真に必要な書類のみを適時作成
4. 電子データの活用によるペーパーレス化
5. 情報通信機器の活用等により、各種打合せ・段階確認・検査等を効率化

⑦-2 生産性向上等説明会（R5実施状況・R6計画）

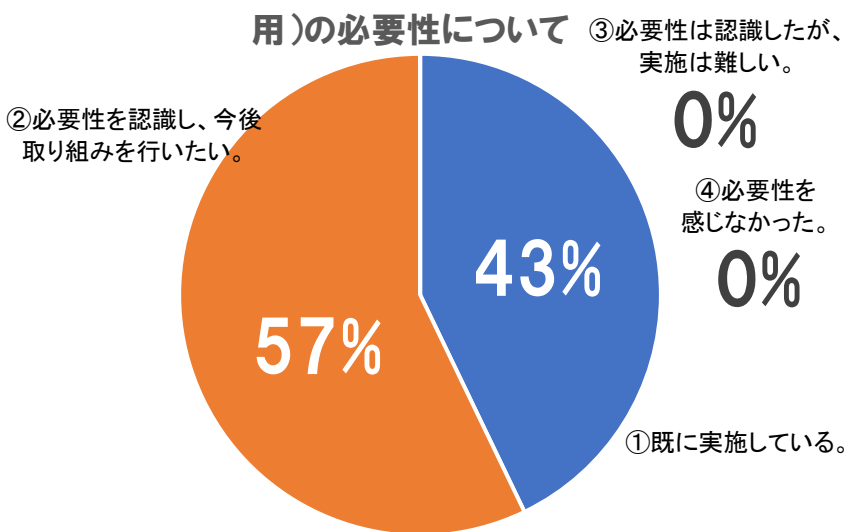
アンケート結果（理解度）

（アンケート回答者：市町村 7名）

1.建設業界における週休2日の取り組みについて



2.円滑な工事施工（各種ガイドラインの策定・活用）の必要性について



◆ 本講習会を受講して、協議会の取り組み項目である「**建設業界の週休2日の取り組み**」「**円滑な工事施工（各種ガイドラインの策定・活用）**」について、「既に実施している」を含め、**ほぼ全員が必要性を認識**しており、今後、工事の品質確保、担い手の中長期的な育成・確保に向け、発注者として取り組むべき内容について理解が得られた。

令和6年度の取り組み【継続】

※ 開催時期、実施方法については別途検討

◆ 地域独自指標として「適切な設計変更（設計変更ガイドラインの活用）」を設定していること、本講習会では、生産性向上につながる取り組みについて幅広く説明、紹介を行っていることなどから、継続して実施。

⑧ 発注者関係事務相談キャラバン（R5実施状況・R6計画）

目的

- 公共工事の発注関係事務である入札契約、設計積算、監督検査等一連のプロセスにおいて市町村が抱える悩みや疑問を直接相談できるよう北陸地方整備局職員及び県職員が管内を訪問。
- H29～R1年度の3年間で北陸管内の全64市町村を訪問（H29:20市町村、H30:22市町村、R1:22市町村）。

活動内容

◆ R1年度に1巡目が完了。

- ◆ 2巡目は、「施工時期の平準化」の更なる推進を図ることを重点的に実施。
- ◆ 現状の取組・課題を把握し、推進に向けた具体例等を提示。

- ◆ R2.1～2月 平準化ヒアリングの実施
（長岡市、上越市、富山市、金沢市の4市）
- ◆ R2.11～R3.1月 キャラバン（2巡目）の実施
（三条市、射水市、小松市、白山市の4市）
- ◆ R3.10～11月 キャラバン（2巡目）の実施
（新発田市、柏崎市、燕市（Web）、村上市（Web）、高岡市、南砺市、加賀市、七尾市の8市）
- ◆ R4.10～11月 キャラバン（2巡目）の実施
（十日町市、五泉市、佐渡市、南魚沼市、氷見市（Web）、砺波市、能美市（Web）、野々市市（Web）の8市）

R4年度に概ね人口5～10万人の訪問を完了

- ◆ 「施工時期の平準化」の実施状況の確認。
 - ・ 施工時期の平準化が進まない要因等
 - ・ 現状の取組・課題、平準化の推進に向けた今後の取組
 - ・ 建設業界からの取組に対する評価や要望 等
- ◆ 「全国統一指標」「運用指針」項目の取り組み状況の確認。
 - ・ 「全国統一指標」「地域独自指標」の各項目
 - ・ 「適切な工期設定（週休2日）」「発注見通しの統合」 等

R5取り組み

概ね人口3～5万人の市町村を対象として訪問。
（妙高市、阿賀野市、魚津市、滑川市、黒部市、小矢部市、入善町、かほく市、内灘町の9市町）



阿賀野市



小矢部市



魚津市



かほく市

令和6年度の取り組み【継続】

- ◆ R5年度も「施工時期の平準化」の更なる推進を図ることを重点的に実施（訪問形式、Web形式を併用）。
- ◆ 新潟県：概ね人口3～5万人の市町村を対象。
- ◆ 富山県、石川県：概ね人口～3万人の市町村を対象。

⑨ 品質確保に関する相談窓口の開設（R5実施状況・R6計画）

管内の自治体から、『どこに問い合わせれば良いのかわからない』という意見が多く寄せられたことから、名刺サイズの「発注関係支援カード」と「ポスター」を作成して平成28年度から配付。

発注関係事務支援カード（問合せ先一覧）

1. 【入札契約関係】

(1) 競争参加資格

総務部 契約課 工事契約調整係長 ●●(内 2523)

(2) 入札契約手続

総務部 契約課 契約係長 ● (内 2526)

Mail:hrr-soumu-keiyaku@ou.mlit.go.jp

☎025-370-6647

(3) 総合評価落札方式

企画部 技術検査官 ● (内 3124)

Mail:hinkaku@hrr.mlit.go.jp

☎025-370-6702

2. 【設計積算関係】

(1) 土木工事積算

企画部 技術管理課 基準第一係

●●, ●●●(内 3321, 3322)

☎025-370-6702

(2) 設計業務積算

企画部 技術管理課 基準第二係

●●, ●●●(内 3341, 3342)

☎025-370-6702

3. 【施工・監督・検査関係】

企画部 技術検査官 ●●(内 3123)

☎025-370-6702

4. 【i-Construction 関係】

企画部 技術検査官 ●●(内 3121)

☎025-370-6702

表面

5. 【建設業法関係】

建設部 計画・建設産業課 建設業係長 ●●(内 6145)

Mail:keikaku-kensetusangyou@hrr.mlit.go.jp ☎025-370-6571

6. 【港湾空港関係】

港湾空港部 品質確保室 ●●(内 6333)

☎025-370-6607

7. 【公共建築関係】

営繕部 計画課長補佐 ●●(内 5153)

Mail:pb-soudan2011@hrr.mlit.go.jp ☎025-280-8705

上記以外の発注関係事務全般

【北陸ブロック発注者協議会 事務局】

北陸地方整備局 企画部 技術管理課 品質確保チーム

Mail:hinkaku@hrr.mlit.go.jp ☎025-370-6702

※発注関係事務に関する項目について、いつでもなんでも問い合わせ下さい。

平成 30 年 4 月 1 日作成

裏面

いつでも、なんでも
ご相談ください！

発注関係事務について、
必要な助言
その他の援助を行います。

北陸ブロック発注者協議会とは
「公共工事の品質確保の促進に関する法律」(品確法)を踏まえ、
発注者間の連絡調整、さらには発注者責任を果たす実効ある組織
として、北陸ブロックの国、県、代表市町村、特殊法人等の29機関
(県部会構成員含め79機関)で構成される組織です。
公共工事の品質確保の促進及び工事の生産性向上に向け総
合評価落札方式の導入・拡大を柱として取り組んでいます。

「発注関係事務の
運用に関する指針」
QRコード

冊子「支援メニュー」
QRコード

支援メニューと問い合わせ先

北陸ブロック発注者協議会では、公共工事等の発注事務に関して、その適切な実施に向けて、地方自治体等の
各機関を支援しています。

1. 入札契約関係

(1) 競争参加資格
総務部 契約課 工事契約調整係(内2523) ☎025-370-6647
Mail:hrr-soumu-keiyaku@ou.mlit.go.jp

(2) 入札契約手続
総務部 契約課 契約係(内2526) ☎025-370-6647
Mail:hrr-soumu-keiyaku@ou.mlit.go.jp

(3) 総合評価落札方式
企画部 技術検査官(内3124) ☎025-370-6702
Mail:hinkaku@hrr.mlit.go.jp

(4) 各機関の総合評価審査委員会への委員派遣
企画部 技術検査官(内3124) ☎025-370-6702
Mail:hinkaku@hrr.mlit.go.jp

(5) 職員研修への地方自治体職員等の受講受け入れ
総務部 人事課 研修係(内2331) ☎025-280-8814

(6) 総合評価関係事務の演習講習会の開催
企画部 技術検査官(内3124) ☎025-370-6702
Mail:hinkaku@hrr.mlit.go.jp

2. 設計積算関係

(1) 土木工事積算
企画部 技術管理課 基準第一係(内3321,3322) ☎025-370-6702

(2) 設計業務積算
企画部 技術管理課 基準第二係(内3341,3342) ☎025-370-6702

3. 監督・検査関係

(1) 直轄工事検査への臨場受け入れ
企画部 技術管理課 検査係(内3326) ☎025-370-6702

(2) 施工・監督・検査関係
企画部 技術検査官(内3123) ☎025-370-6702

4. i-Construction関係

企画部 技術検査官(内3121) ☎025-370-6702

5. 建設業法関係

建設部 計画・建設産業課 建設業係(内6145) ☎025-370-6571
Mail:keikaku-kensetusangyou@hrr.mlit.go.jp

6. 公共建築関係

営繕部 計画課(内5153) ☎025-280-8705
Mail:pb-soudan2011@hrr.mlit.go.jp

7. 港湾空港関係

港湾空港部 品質確保室(内6333) ☎025-370-6607

8. その他説明会、講習会、相談会等

(1) 改正品確法等及び発注関係事務説明会
(2) ガイドライン(生産性向上)等講習会
(3) 公共工事の発注関係事務相談キャラバン
(4) 品質確保等に関する相談窓口
企画部 技術検査官(内3124) ☎025-370-6702
Mail:hinkaku@hrr.mlit.go.jp

北陸ブロック発注者協議会 事務局

国土交通省 北陸地方整備局 企画部 技術管理課

TEL 025-280-8880

FAX 025-280-8861

http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/burokkukouhyou/hyouдай.html

各県部会窓口

新潟県 土木部 技術管理課 技術管理班
TEL 025-280-6391

富山県 土木部 建設技術企画課
TEL 076-444-3138

石川県 土木部 監理課 技術管理室
TEL 076-225-1787

令和6年度も継続して取り組みを実施